



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美 主の祈り	新211	天なる喜び	—	同 同
讃美 交読 祈 報 聖 説 献 頌 祝	新266 詩篇	罪咎を赦され 65:1~13	— —	同 同 司会者
		Iテサロニケ5:12~28	司会者	渡邊貞雄師
		「喜び・祈り・感謝」	渡邊貞雄師	
	イ328	人の知らぬ喜びを	北村真理姉	(起立)一同
	新63	父、御子、御霊の 祈	渡邊貞雄師	

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。

Iテサロニケ 五・一六〜一八



受 = 岡山姉 / 操 = 中川兄 / A = 小坂姉 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2022年11月6日 VOL. 46-45 No. 2401

URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 今朝の礼拝はテサロニケの手紙からです。13日(日)は「箴言」3章から、20日(日)は「伝道者の書」3章から、その後はルカとマタイの福音書を中心に、アドベント(待降節)とクリスマスへと進んでいきます。
- ▼ 11月号のCCPN誌が発行されました。お手元において覚えてお祈りください。
- ▼ 先週4日の山口兄の手術は、無事に終わられました。今後の退院

のために続けてお祈りください。

- ▼ 明7日(月)夜は、COG教団スリム化検討委員会が、ZOOMで持たれます。
- ▼ 日本聖化協力会の機関誌「聖化」が届きました。発行の時期の関係で内容に時間差が生じています。ご了承ください。



# にれ はみ

2022年10月30日  
聖日礼拝  
Iテサロ4:13~5:11  
「永遠に主とともに」  
説教 渡邊貞雄 師



今朝は主が赤子として地上に来られた初臨に続く、私たちを迎えにもう一度来られる再臨の約束についてです。

## I、再臨とその混乱

テサロニケ教会の人々は、再臨の前に「眠っている人たち」のことを思い、再臨の約束に預かることができないのではと不安と悲しみを覚えていた(13)。最初の殉教者ステパノは、「彼は眠りについた」と書かれている。(使徒7:60)。これをF.F. ブルースは、「…思いがけなく、美しく、平和に満ちた描写」と説明している。

テサロニケ教会の人たちは、再臨の約束に喜び溢れたが、再臨の前に地上の生涯を閉じた召された人たちは、どうなるのだろうと心配をしていた。

## II、再臨の整理と順序

この混乱の報告を知ったパウロは、再臨についての丁寧な説明の手紙を書き送った(14~18)。

①眠った者は真っ先に(1番のりに)、主とともに現れること。②主は号令とみ使いの大声とラッパの響きを伴って、天から降りてこられること(16)。③生き残っていた者たちは、空中に引き上げられ雲の中を通過して空中揜挙され

主と出会うこと(17)。

この「引き上げられる」携挙とは、鳥がえり首をつかまれて、ひょいと持ち上げられる状態のこと。再臨の時、私たちは重力に逆らって、空中に挙げられ主と幸いな出会いを経験する。

## III、再臨の時期について

①再臨の時期について、パウロは書き送る必要がないとした(5:1)。再臨の時期は誰にも判らないと聖書は語る。しかし異端や新興宗教がここにつけいつてくる。②主の日は誰にもわからない。盗人が夜来るように平和だ安全だと言う時に、突然やってくる(2、14)。③しかし信仰者に突然それが襲うことはない(4)。この意味は霊的に目覚めている聖徒には、「暗闇の中にいないので」(4、5)再臨の近さを感知し備えることが出来るのだ。

「時代のカナリア」(湯川れい子著)という本がある。アーティストは新時代を感じ取るカナリアだと語っている。私たちは終末と再臨の接近を感知する、カナリアでなければならぬ。

初代教会の人々は、マラナタ「主よ来たりませ」(Iコリント16:22)と挨拶して、この希望に生き続けた。

# 世界のニュース



## ◎モスクワ市職員の 3分の1が国外逃亡 ニューズウィーク日本

版が10月29日伝えるところでは、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領が、ウクライナに派遣する予備役の部分的動員を発令したことを受け、モスクワ市職員の3分の1近くが1カ月の間に国外に逃れたと、地元メディアが報じた。

地元メディア「ネストカ」は、住宅や地域サービス、医療、教育など、大規模な部門の男性職員やIT部門の専門家たちが一斉に逃げ出したと、事情に詳しい関係筋の話として伝えた。職員の多くは正式に辞職しておらず、関係当局に届け出もしていないという。「彼らはマグカップも洗わず、職場に私物を残したままいなくなった」とある情報筋は語っている。

大統領は9月21日、ウクライナでの戦闘に予備役30万人を動員すると発表。

## ◎教皇、ソウルの繁華街 転倒事故の犠牲者悼む

教皇フランシスコは10月30日、日曜正午の祈りの集いで、韓国ソウルの繁華街で発生した転倒事故に言及、犠牲者を悼んだ。

29日夜、ソウルの梨泰院（イテウォン）の路地で起きた、密集の中の転倒や圧迫による犠牲者はこれまで154人、負傷者は133人確認されている。教皇は、ソウルで前晩発生した突然の雑踏事故の悲劇のために亡くなった、若者たちをはじめとするすべての人々を心に留め、これらの犠牲者を復活の主に託して祈った。

## ◎実物大に再現した 「ノアの箱舟」テーマパーク

米ケンタッキー州ピーターズバーグにある、実物大をうたう「ノアの箱舟」を再現したテーマパーク。進化論を偽りとする世界観を主張し、全米から天地創造説の信者が訪れている。

## ◎11/2(水) 祈祷会 「不信の罪」 頼子師 歴代I 9:1、10:13

9章の不信の罪は、ユダ王国がバビロン捕囚となった「神を信頼しなかった罪」を指している。神への全き信頼に比べ、人間関係・知識や経験・金銭・環境・健康等は、全き信頼をおくにはあまりに危うく、移ろいやすく、当てにならないものではないか。

10章の不信の罪は、サウルが主に尋ねず霊媒に伺いを立てた「神の信頼を裏切っ

た罪」を指している。ダビデは失敗をしながらも主の信頼に応えていった。主は私を信頼してこのことを、この子を、この困難を私に託しておられる。

この二つの不信の罪に留まり続けることから守られ、主と心の焦点が合っているときの心の軽さをもって進ませて頂こう。



## 「今後の集会予定／教会情報」

◎11/9(水) 定例祈禱会 (PM7:00)  
(ZOOMによる祈禱会)

◎11/12(土) 清掃奉仕 (AM9:30)

◎11/13(日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆ 祈禱会(司)中川兄(説)渡邊師

● 来週礼拝 箴言 3 : 1 ~ 2 0

● 主 題 「 知 恵 に 生 き る 」

## 定 期 集 会 の ご 案 内

◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45

◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00

◇ 早天祈禱会 (火土) 朝 6:30~ 7:00

◇ 祈 禱 会 (水) 午後 7:00~ 8:15

## 来 週 の 奉 仕 者

◎ 礼 拝 司 会 中 川 兄

◎ 礼 拝 奏 楽 頼 子 師

◎ 礼 拝 献 金 中 西 兄

◎ 受 付 幸 子 姉

▽ 教 会 学 校 随 時

▽ ヤ ン グ 随 時

▽ ア ハ ン な し

▽ ホ レ ブ な し

▽ 教 会 ナ ビ 随 時

▽ 昼 食 当 番 な し

▽ ア ッ シ ャ ー 北 村 兄

▽ S S 入 力 真 理 姉

▽ P P T 操 作 真 理 姉

## 《《《2022年 松阪教会スローガン「一歩前にある恵み!」》》》 「足の裏で踏む場所はことごとく、すでに…与えている」(ヨシュア1・3)

●感謝の気持ちを口にするだけでなく、行動にうつさなければ、それは本当の意味で感謝していることには達しないと思う。(ATSUSHI歌手・作詞・作曲家)

●お腹がすいていれば、何を食べても

「おいしい」と感じます。風邪が治ったとき「元気」であることに感謝します。この一瞬が「幸せ」の本質です。

(大原敬子/幼児教育研究者)



## 礼拝の心得

①聖書のヨハネ4:24には以下のように勧められています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」



②始まる時間と、5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。

③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。

④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。

⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心からの喜びをもっておさげしましょう。

⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。

⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。